

令和6年度 中央区立豊海小学校 外部評価報告書

評価委員： 宮森孝一 委員長 、 山内栄一郎 副委員長 、 赤熊弥生 委員 、
塩原大亮 委員 、 今西雄一 委員

報告書作成者： 赤熊弥生 委員

評価時期 令和7年2月

1 重点目標の評価

【重点目標1「確かな学力の定着」について】

- ・学力調査の結果から、豊海塾の重要性を感じる。今後も豊海塾を通して、苦手な教科を丁寧にも教えてもらう機会を保障し基礎学力の定着を図ってほしい。
- ・教科担任制を行うことで、指導内容を揃えて指導できていることが良い。また、子どもたちにとって、色々な先生と関わることができることも良い。

【重点目標2「豊かな心の育成」について】

- ・重点1「学力の定着」も大切であるが、重点2「豊かな心の育成」があるからこそ学力も定着するのではないかと考える。校長の豊かな心を大切にする考え方が良い。
- ・SNSによるトラブルの話も聞いているが、情報モラル教育の必要性から実践している事が良い。

【重点目標3「健康な体づくりと体力の向上」について】

- ・「体育や休み時間、放課後に積極的に身体を動かしているか」の設問では「よくあてはまる」「あてはまる」が7割だったが、マイスクールスポーツ（長縄）の取組によって、自分たちから「やってみたい」という気持ちが育まれていると安心した。
- ・区のわんぱく相撲、キンボール大会では、毎年、豊海小学校は上位で活躍をしていることが多く、アンケート結果には反映されていないが、運動の楽しさや、競い合う気持ちが育っていると感じる。

2 今後の改善に向けた意見

- ・「自ら進んで学習に取り組んでいる」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」の評価が66%と全体の3分の2となっているが、ぜひC評価の子供たちにB評価になる工夫をした授業展開をしてほしい。
- ・学校としての課題を明確にするには、中央区全体としての検証が行えるとよいのではないかと考える。

3 その他の意見

- ・地域の企業との連携は、自分たちの地域を知る良い経験になっていると感じる。子供たちが学校で色々な経験をしており安心した。
- ・地区委員が行ったバスハイクは、学校からの発信もあり、親子150人程集まった。保護者も子どもと一緒に楽しめる行事はとても好評だった。